

## 富山市エコタウン事業

ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることを旨とする『ゼロエミッション構想』を軸に、地域の振興を図りながら環境と調和したまちづくりを推進する事業です。

エコタウン制度は、平成9年度に創設されました。それぞれの地域の特性に応じて、地方公共団体がエコタウンプラン（環境と調和したまちづくり計画）を策定し、そのプランが国の承認を受けた場合、国から総合的・多面的な支援を受けることができます。

このことにより、地域の独自性をふまえた廃棄物の発生抑制・リサイクルの推進を図り既存の枠にとらわれない、先進的な環境調和型まちづくりを行うことができます。

### ■エコタウン事業の承認地域



平成23年3月現在、エコタウン事業の承認地域は、北海道2地域、東北4地域、関東3地域、中部6地域、近畿2地域、中国四国6地域、九州3地域の、計26地域となっています。

ちなみに富山市は、平成14年5月17日に、全国で16番目、北陸では初めての承認地域となりました。

### 【事業概要】

富山市内に18ha程度の『エコタウン産業団地』を設け、資源循環施設の拠点とします。エコタウン産業団地には、循環系の施設を集約するとともに、エネルギー利用も含め、団地内のゼロ・エミッション化を追求します。

第一期事業として、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設、ハイブリッド型廃プラスチックリサイクル施設、木質系廃棄物リサイクル施設、自動車リサイクル施設の4施設を整備しマテリアルリサイクル(素材リサイクル)を優先した地域内での資源循環の取り組みを進めています。

また、第二期事業として、難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設、廃食用油リサイクル施設、廃棄物エネルギーリサイクル施設の整備、富山市エコタウン交流推進センタ



一の開設を行うとともに、今後新たなリサイクル事業についても、事業化に向けて取り組んでまいります。

このエコタウン産業団地は富山市エコタウンの核となり、エコタウン事業における推進交流や市民への啓発も併せて進めていきます。

### 【富山市エコタウンプラン】

富山市では、環境行政の基本的な考え方として、「人と環境にやさしい都市とやま」を実現するため5つの基本目標を設定しています。

そのひとつに「環境にやさしい循環型のまち」という目標を掲げ、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会構造から転換して、省資源・省エネルギー、リサイクルなどによる循環型社会を築き、地球環境にやさしい取り組みを推進することを目指しています。

また、「環境の保全および創造に向けて参加・行動するまち」という目標も掲げ、環境情報の提供や環境教育などの充実を図るとともに、市民が環境の保全・創造に向けて、自主的・積極的に参加・行動できるまちづくりを推進することとしています。

#### 富山市の環境施策の基本的な考え方 「人と環境にやさしい都市とやま」

1.安全な生活ができるまち

2.水と緑に恵まれたまち

3.質の高い都市環境が創造されたまち

4.環境にやさしい循環型のまち

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済構造からの転換を図り、省資源・省エネルギー・リサイクルなどによる循環型社会を築くとともに、人類の存在基盤である地球環境にやさしい取り組みを推進します。

5.環境の保全及び創造に向けて参加・行動するまち

環境情報の提供や環境教育・学習などの充実を図り、市民だれもが環境の保全及び創造に向けて自主的・積極的に参加・行動するまちをめざします。また地球環境保全に関する国際的取り組みへの協力を推進します。

### 【基本方針】

地域内循環を優先した資源循環施設の拠点整備を図り  
“人と環境にやさしい都市とやま”を実現する

## 1. 地域内での循環を優先した取り組みの推進

富山地区には、プラスチック加工業や石油関連企業、アルミ製造業などの地元素材産業が多く立地し、これらの産業の原料として再生品の需要が多く見込めます。また、主要産業

の1つである農業と関連させた資源循環の取り組みも可能となります。さらに、寒冷で多湿という気候的な特徴から、暖房用や調湿材などとして再生品(木炭)の需要も多く見込めます。

このため、富山市エコタウンにおいては、地元素材産業や農業、ハウスメーカーなどを中心に再生品の利用先を確保し、回収した資源が確実に再生品として地域内で循環利用されるよう、地域内で資源循環が行われるようリサイクル施設の整備を推進していきます。また、このような地域内循環を形成するために、公共部門から率先してグリーン調達を推進し、民間事業者などに拡大するなどの支援を行っていきます。

## 2. 過去の経験を活かした、人と環境にやさしい都市とやまの実現

富山市は、その他プラスチック容器包装・その他容器包装廃棄物などの分別回収を、他都市に先駆けて取り組んできました。特に、複合素材をのぞく、その他紙製容器包装を分別回収し、地域内で紙原料とする取り組みは、「富山方式」として高く評価されています。

このため、富山市エコタウンでは、過去の取り組みを活かし、市民のリサイクル意識をさらに高めるとともに、地域ぐるみの減量化・資源化活動の推進や再生品の利用促進のほか、ごみ減量・再利用に係わる普及啓発などを推進し、「人と環境にやさしい都市とやま」を実現していきます。

## 3. 素材の段階的再利用と廃棄物エネルギーの有効活用の促進

富山市エコタウンでは、それぞれのリサイクル事業が連携することによって、素材の段階的再利用を推進していきます。

## 4. 事業性の考慮

富山市エコタウンでは、持続的に事業が成り立つことを条件に、経済動向や事業採算性について十分に考慮しながら事業を推進していきます。

また、国や県、市の補助金制度や融資制度などを有効に活用するとともに、市民・事業者・行政が連携した取り組みを推進していきます。

## 5. 事業主体及び消費者との連携

分別回収した後、資源を再商品化し再利用する製品が消費されなければ、資源循環は成り立ちません。そのため、富山市では、再商品化事業者および再生品の購入主体である消費者を育成し、相互に連携することを重視していきます。

## 6. 情報の公開

エコタウン事業を推進するにあたり、富山市は、環境保全の確保と市民の安心を確立するため、事業者の募集、工場の建設、運営にいたるまで、住民合意のもとに推進していきます。また、環境情報の公開を行い、事業の安全性と信頼性の確保を図ります。